

発掘ニュース

位置情報URLはおおよその位置を示すものです。地理院地図（電子国土Web）にリンクしています。

4月1日更新

伊勢国府跡（長者屋敷遺跡第33次） 鈴鹿市広瀬町

発掘調査指導委員会を開催して、今後の調査計画指導助言を受けました。



指導委員会



埋め戻しました

磐城山遺跡（第7-2次） 鈴鹿市木田町

竪穴住居の掘削が続いています。調査は一旦中断して、間瀬口遺跡の調査完了後に再開の予定です。



竪穴住居掘削作業

間瀬口遺跡 鈴鹿市木田町

西側から徐々に遺構の掘削作業を進めています。竪穴住居や溝は古代のものと思われませんが、古墳時代初頭の土師器が出土した土坑もあります



竪穴住居の掘削作業



土坑から古墳時代高坏の出土

[一般収蔵庫（過去のニュース）](#)
[特別収蔵庫（現地説明会資料）](#)
[ホームページに戻る](#)

発掘ニュース

位置情報URLはおおよその位置を示すものです。地理院地図（電子国土Web）にリンクしています。

3月1日更新

伊勢国府跡（長者屋敷遺跡第33次） 鈴鹿市広瀬町

遺構・遺物ともに見つかりませんでした。政庁と官衙ブロックを南北大路が結んでいた場合は、東側溝が調査区内にひっかかるはずでした。無いということが確認されたことも調査の大きな成果です。



南北トレンチと政庁



サブトレンチ

磐城山遺跡（第7-2次） 鈴鹿市木田町

調査を再開しています。夏に引き続き、ひたすら竪穴住居の検出作業です。



遺構検出状況



竪穴住居掘削作業

間瀬口遺跡 鈴鹿市木田町

老人福祉施設の改築に伴う緊急発掘調査です。遺構検出作業の途中ですが、すでにくつきの竪穴住居が検出されています。過去にほ場整理を受けているので残りはあまりよくないようです。また、調査区の東半は谷状地形となっています。



検出作業風景



検出された竪穴住居。右手にカマドの跡も見られます。

[一般収蔵庫（過去のニュース）](#)
[特別収蔵庫（現地説明会資料）](#)
[ホームページに戻る](#)

発掘ニュース

位置情報URLはおおよその位置を示すものです。地理院地図（電子国土Web）にリンクしています。

2月1日更新

伊勢国府跡（長者屋敷遺跡第33次） 鈴鹿市広瀬町

遺跡への経路：県道辺法寺加佐登停車場線をはさんで政庁の反対（北）側
位置情報URL：<http://portal.cyberjapan.jp/site/mapuse4/index.html?lat=34.885469&lon=136.497448&z=17&did=std&crs=1>

調査の種類：本調査

調査原因：学術調査

調査期間：平成27年1月5日～平成27年3月5日（予定）

調査面積：60㎡

主な遺構：なし

主な遺物：なし

見頃：2月下旬

現地説明会：未定

政庁と北方官衙ブロックの中間点に調査区を設けました。官衙ブロック（方格地割）中央の幅24mの朱雀路的な道路が政庁までつながるか確認するのが目的です。まだ表土を除去した段階ですが、それらしい南北溝は見つかっていません。



南北トレンチと政庁



東西トレンチ

一般収蔵庫（過去のニュース）
特別収蔵庫（現地説明会資料）
[ホームページに戻る](#)

発掘ニュース

位置情報URLはおおよその位置を示すものです。地理院地図（電子国土Web）にリンクしています。

1月1日更新

石丸野1号墳（第2次） 鈴鹿市平野町

調査は終了しました。南側と北側から主体部を狙った巨大な盗掘坑が掘り込まれており主体部はほとんど失われていました。わずかに木棺直葬の墓坑の西端にあたるとみられる掘り方と棺の下に敷かれたとみられる緑灰色粘土床を確認したにとどまりました。残念です。



盗掘坑の状況



主体部の断面

[一般収蔵庫（過去のニュース）](#)
[特別収蔵庫（現地説明会資料）](#)
[ホームページに戻る](#)

発掘ニュース

位置情報URLはおおよその位置を示すものです。地理院地図（電子国土Web）にリンクしています。

12月1日更新

宮ノ前遺跡（第3次） 鈴鹿市十宮三丁目

調査は終了しています。終了間際に、西側の擁壁設置場所についてもトレンチ状の調査を行いました。南端から古墳時代の遺物を含んだ溝を確認しました。



擁壁調査区（北から）



溝の完掘状況

石丸野1号墳（第2次） 鈴鹿市平野町

主体部確認のため墳頂部を掘り下げていますが、大規模な攪乱坑が次々と現れ主体部の確認にはいたっておりません。盗掘坑からは山茶碗の破片などが出土しています。墳頂西端に顔を出していた須恵器坏の周囲を広げると蓋坏と土師器甕が並べられて出土しました。祭祀の跡かもしれません。



盗掘坑をさらえています。



祭祀の跡でしょうか？

天王遺跡（第15次） 鈴鹿市岸岡町

調査は終了しました。結局、溝・土坑と小規模な柱穴が見つかったのみでした。大部分は中世のものとみられます。



調査区全景（西から）



溝

平野城跡 鈴鹿市平野町

遺跡への経路：汲川原橋南詰交差点から、主要地方道鈴鹿環状線を西へ約1km、左手。

位置情報URL：[http://portal.cyberjapan.jp/site/mapuse4/index.html?](http://portal.cyberjapan.jp/site/mapuse4/index.html?lat=34.870295&lon=136.512887&z=17&did=std&crs=1)

lat=34.870295&lon=136.512887&z=17&did=std&crs=1

調査の種類：本調査

調査原因：太陽光発電施設建設に伴う緊急調査

調査期間：平成26年11月15日～平成26年11月30日

調査面積：30㎡

主な遺構：土塁

主な遺物：

見頃：終了しました。

現地説明会：実施しません。

鈴鹿川右岸に向かって突き出した段丘の先端という絶好の場所に立地する中世城館です。土塁がL字状に延長約80mにわたってよく残っています。太陽光発電施設建設に際し、土塁の大部分は保護していただけることになりましたが、進入路となる土塁の南端約3mについては削平されることになり記録保存となりました。断面を見ると旧表土の内外を削ることで土壇状としたうえで、砂礫土、黒色土を交互に約1.5m積み上げています。盛土自体は荒く、しまりも無い簡易なつくりに見えます。しかし、周囲を削ることで実際の盛土以上の高さを印象付けてい

ます。現在、引き続き外周部分の地形測量を続けています。



土塁の現状



土塁の断面

[一般収蔵庫（過去のニュース）](#)
[特別収蔵庫（現地説明会資料）](#)
[ホームページに戻る](#)

発掘ニュース

位置情報URLはおおよその位置を示すものです。地理院地図（電子国土Web）にリンクしています。

11月1日更新

宮ノ前遺跡（第3次） 鈴鹿市十宮三丁目

南北調査区でようやく第2次調査で見つかった溝の続きが見つかりました。やはりたくさん
の古墳時代の土器を含んでいます。予想と違って直角に曲がっていませんでしたので、溝の性
格については一から考え直します。



遺物の取り上げが大変です。



なんと耳環が出土。

石丸野1号墳（第2次） 鈴鹿市平野町

主体部の確認調査に入っていますが二度の台風の来襲と盗掘と見られる攪乱が著しいことか
らあまり進展していません。主体部かとも思っていた落ち込みのサブトレンチからジンジャエ
ールの空き缶！が出土したのにはがっかりです。



須恵器坏身が顔を出してますが、埋土と攪乱土との区別が難しい！。

天王遺跡（第15次） 鈴鹿市岸岡町

遺跡への経路：鈴鹿厚生病院の北西約100mの水田です。

位置情報URL：<http://portal.cyberjapan.jp/site/mapuse4/index.html?lat=34.8594&lon=136.601823&z=18&did=std&crs=1>

調査の種類：本調査

調査原因：集合住宅建築に伴う緊急調査

調査期間：平成26年10月1日～平成26年10月31日

調査面積：200㎡

主な遺構：溝・土坑・柱穴

主な遺物：須恵器・土師器

見頃：終了しました。

現地説明会：実施しません。

天王遺跡は弥生時代後期の環濠集落・古墳時代の大規模な集落・古代の官衙的な遺構群、そ
して中世の御厨らしき遺構が重複する海岸沿いでは中核的な遺跡です。今回は、集合住宅の建
築に伴うもので、進入道路の一部と建物基礎の地盤改良が行われる部分の調査を行いました。
水田の真っ只中なのでたびたび冠水し苦勞しました。遺跡の中心部分からは離れているため
か、若干の溝・土坑や小規模な柱穴が見つかったのみです。



溝を検出。



台風来襲で水没。

一般収蔵庫（過去のニュース）
特別収蔵庫（現地説明会資料）
ホームページに戻る

発掘ニュース

位置情報URLはおおよその位置を示すものです。地理院地図（電子国土Web）にリンクしています。

10月1日更新

宮ノ前遺跡（第3次） 鈴鹿市十宮三丁目

東西調査区が掘りあがりました。残念ながらこれといった遺構は確認されませんでした。全体的に削平を受けているようです。新たに、南北調査区の掘削に着手しています。



東西調査区掘りあがり



下層の堆積状況を確認しました

石丸野1号墳（第2次） 鈴鹿市平野町

遺跡への経路：本田技研工業鈴鹿工場西側の「汲川原橋石丸線」から西に入る。高い木が目印。

位置情報URL：[http://portal.cyberjapan.jp/site/mapuse4/?](http://portal.cyberjapan.jp/site/mapuse4/?lat=34.86474&lon=136.51926&z=15&did=std&crs=1)

lat=34.86474&lon=136.51926&z=15&did=std&crs=1

調査の種類：本調査

調査原因：学術調査

調査期間：平成26年9月1日～平成26年10月31日

調査面積：50㎡（予定）

主な遺構：古墳

主な遺物：須恵器

見 頃：未定

現地説明会：未定

削平された前方部と後円部の境目部分にトレンチが入りました。見事に南側のくびれ部を確認しましたが、埴輪も須恵器などの土器もほとんど見られません。葺石はしっかりなのに埴輪をめぐらさない微妙な段階の古墳のようです。

墳頂部の掘り下げも開始しました。昨年のトレンチ調査で、上面に0.5m以上の後世の盛土があることが確認されていますので一気に掘り下げます。



くびれ部のトレンチです。



墳頂部の掘り下げを始めました。。

一般収蔵庫（過去のニュース）
特別収蔵庫（現地説明会資料）
[ホームページに戻る](#)

発掘ニュース

位置情報URLはおおよその位置を示すものです。地理院地図（電子国土Web）にリンクしています。

9月1日更新

宮ノ前遺跡（第3次） 鈴鹿市十宮三丁目

遺跡への経路：地方主要道四日市鈴鹿環状線の百々川橋北詰交差点を北へ、約450m。

位置情報URL：[http://portal.cyberjapan.jp/site/mapuse4/?](http://portal.cyberjapan.jp/site/mapuse4/?lat=34.889704&lon=136.577855&z=18&did=std&crs=1)

lat=34.889704&lon=136.577855&z=18&did=std&crs=1

調査の種類：本調査

調査原因：宅地造成

調査期間：平成26年8月1日～12月31日

調査面積：511.28㎡

主な遺構：溝

主な遺物：土師器・須恵器・弥生土器

見 頃：まだです

現地説明会：未定です。

調査区は第2次調査の南に隣接します。2次調査では古墳時代の遺物を大量に含んだ直線的な溝が見つかって居館などの濠の可能性があると考えています。もしそうならば今回の調査区は居館の内部にあたる可能性が高いので、何らかの建物遺構の検出を期待しています。しかし、現在のところいくつかの溝（流路）や土坑のみで、それらしいものには出会っていません。



堆積が複雑で頭を悩ませています。中央の白い部分が溝かと思ったら両側が落ち込みでした。



古代の溝を掘削しているところです。



古墳時代の土坑が見つかりました。



白鳥中学校の歴史クラブのメンバーが発掘に参加してくれました。

一般収蔵庫（過去のニュース）
特別収蔵庫（現地説明会資料）
[ホームページに戻る](#)

発掘ニュース

位置情報URLはおおよその位置を示すものです。地理院地図（電子国土Web）にリンクしています。

鈴鹿市木田町

8月1日更新

磐城山遺跡（第7次）

発掘作業は高さ入れを残し無事終了しました。7月26日(土)には夏休み子ども体験博物館の発掘体験会を実施し午前中19人、午後13人、家族の方も含め合計52人の参加となりました。午前中には弥生土器の完形の鉢・午後には土玉を掘り当てたグループがいて周りから歓声が上がっていました。



西調査区完掘（北から）



発掘体験会

[一般収蔵庫（過去のニュース）](#)
[特別収蔵庫（現地説明会資料）](#)
[ホームページに戻る](#)

発掘ニュース

位置情報URLはおおよその位置を示すものです。地理院地図（電子国土Web）にリンクしています。

7月1日更新

**磐城山遺跡（第7次）
鈴鹿市木田町**

天候に恵まれたため、調査区の大部分が掘りあがってきました。調査区の西端から直線的に伸びる南北溝が見つかりました。これまでの調査の成果と付き合わせると、一辺70mあまりの方形の区画となる可能性が高まりました。豪族の居宅あるいは官衙関連の施設でしょうか？



直線状に延びる区画溝（北から）



溝を掘る（北西から）

[一般収蔵庫（過去のニュース）](#)
[特別収蔵庫（現地説明会資料）](#)
[ホームページに戻る](#)

発掘ニュース

位置情報URLはおおよその位置を示すものです。地理院地図（電子国土Web）にリンクしています。

6月1日更新

磐城山遺跡（第7次）
鈴鹿市木田町

中区→東区→北区と徐々に調査範囲が広がっています。相変わらず弥生時代後期・古墳時代後期そして中世の遺構がびっしり重複しています。珍しい遺物としては、よく使い込まれて表面の線刻が消えそうになっている石製紡錘車が出土しました。



紡錘車の出土



中区から東区を望む

[一般収蔵庫（過去のニュース）](#)
[特別収蔵庫（現地説明会資料）](#)
[ホームページに戻る](#)

発掘ニュース

位置情報URLはおおよその位置を示すものです。地理院地図（電子国土Web）にリンクしています。

5月1日更新

磐城山遺跡（第7次） 鈴鹿市木田町

遺跡への経路：市街から四日市鈴鹿環状線の木田橋を渡って坂を上った信号三叉路「木田町」の左手の丘陵上。

位置情報URL：<http://portal.cyberjapan.jp/site/mapuse4/?lat=34.901599&lon=136.571574&z=15&did=std&crs=1>

調査の種類：本調査

調査原因：農地改良に伴う緊急調査

調査期間：平成26年4月2日～平成26年9月30日（予定）

調査面積：400㎡

主な遺構：竪穴住居・掘立柱建物

主な遺物：弥生土器・土師器・須恵器

見頃：6月以降

現地説明会：夏休みに発掘体験会を開催する予定です。

古墳時代後期・前期・弥生時代後期の竪穴住居が重複して出ています。



遺構検出状況



竪穴住居の壁溝から土師器瓢壺が出土

一般収蔵庫（過去のニュース）
特別収蔵庫（現地説明会資料）
[ホームページに戻る](#)